



佐藤 昭宏 (41)

SATO AKIHIRO

都道府県：岩手県

所属事業体名：(株)愛工大興

現場技術者としての経験年数：13年

JLC出場経験：第1回JLC 総合得点1036点

Q1. 林業に携わるようになったきっかけは？

知人からの紹介がきっかけでした。最初に仕事の内容を聞いたときは「エッ」と思いましたが、いろいろと話を聞いているうちに、珍しい職種だし「外遊び」が好きだったので楽しそうだなと感じたこと、「職業・キコリ」という響きが何となくかっこよく思え現在の会社に入社しました。

Q2. チェーンソーマンの面白み、やりがいは？

木を伐るといことは、自然相手の仕事でなかなか正解が無いと思いますが、緻密なところもあり、豪快なところもあり、難しいし、奥深いし、まさに職人技的なところが面白いと思います。また、山の仕事は簡単には極めることはできませんが、日々努力や勉強をしていると新しい発見に出会えることです。

Q3. 現場で行っている安全対策はありますか？（作業前、作業中など具体的にお願いします。）

作業に入る前に、様々なことを見て観察して、作業をイメージして、実践して、そしてイメージ通りに出来たか確認します。その繰り返しですが、心に余裕を持つことが一番かと…。後はチームの仲間とのコミュニケーションですね。

Q4. 今まで現場で体験した危険なことはどんなことですか？

色々ありますが・・・
ある日、森の中、くまさんに、出会った！！ スタコラサッサと猛ダッシュで逃げました。

Q5. JLCに出場しようと思った理由は何ですか？

2年前の第1回は知人の紹介で参加しました。その時に競技の難しさや楽しさに、またそこで知り合えた仲間と話をしているうちにハマってしまいました。何より、この大会で要求される技術性、安全性は日々の仕事に直結する要素であり、練習だと思えば日々の仕事が楽しくなります。

Q6. JLC出場に向けての抱負をお聞かせください。（自身の持ち味、得意とすること等）

第2回大会ということもあり、他の参加選手も研究・練習を積み重ねられるものと思います。アラフォーですので年齢的に体がツライですが、前回の成績を上回れるよう頑張りたいと思います。

Q7. 現場技術者（林業に携わる者）としての今後（将来）の目標はありますか？

先輩方から引き継いだ林業に、自分が経験した「仕事の楽しさ」をプラスして後輩に伝えて行き、いつかは「山の達人」となって将来の林業に手助けできれば幸いです。